

## KUCとEKKがインド・ラジャスタン州の 女性夜間学校を支援

### 年間費用:

270,000 円

教師, 光熱費

= 8,500 円 / 生徒\*

\* 30人のクラスを前提にした場合

献金はEKKの口座にお振込みいただけます。

お振込みの際は振込者欄に「インド」を  
ご記入ください。

三菱東京UFJ 銀行  
神戸支店(581)  
普通預金 1267305  
口座名義:  
Evangelische Kirchengemeinde

寄付していただいたお金は100%プロジェクトの  
ために活用されます(管理費には一切使われ  
ません)

パートナーNGO: グラム・パーティー・サミティ

ラジャスタン州で女性の自立支援、保健医療、  
教育、環境プログラムを通じて生活環境の改善  
に努めているNGO。活動の中核は、多くの女  
性が自立して収入を得るためのセルフ・ヘルプ・グ  
ループ(自助グループ)の立ち上げや低利子  
ローンを提供する非営利銀行の運営。  
国連経済社会理事会の特別顧問に就任。

### プロジェクトのスポンサー

- 神戸ユニオン教会
- ドイツ語プロテスタント教会 神戸・大阪 (EKK)
- ヘルプ・フォア・セルフヘルプ・ラジャスタン
- (株) オンフィリア

お問い合わせ: 078-414-2833 (今成) dic-pr@nifty.com



インド北西部にあるラジャスタン州の農村地域では、女性の半分以上が読み書きができません。一度も学校に行ったことがなく、若いうちに結婚させられ、不利な条件の下で働かされています。読み書きができないので、自分の権利も知らないまま、利用されるだけです。

2015年5月にラジャスタン州南東の村コリウム・キ・ダーニに女性のための夜間学校が設立されました。織工などの自助グループに所属している約35名の女性(15歳~50歳)が仕事の後、ここで毎日2時間の勉学に励んでいます。また、正式な学校へ通えなかった13歳~15歳の10名の少女も共に学んでいます。KUCとEKKの支援金で教師の報酬、教材および光熱費が賄われ、夜間学校を維持できます。

一日の仕事を終えたあと、女性たちが熱心に授業に取り組み、読み書きや算数を習得しています。毎日少しの時間でも続けることで手紙や簡単な文章を読めるようになってきています。これまでは契約書など大事な文章を自分で読むことも出来ず、指で捺印していましたが、彼女たちは学校に通うことで自筆サインが可能になったばかりではなく、ヒンドゥー語で短い文章まで書けるようになりました。学習意欲の高い上級生は自ら英語にもチャレンジし、アルファベットからスタートし、いくつかの単語を覚え始めています。

このことは彼女たちにとって大きなステップであり、自信にも繋がってきています。また、男尊女卑のインド社会における女性に対する考え方に変化をもたらしました。織工や刺繍の訓練を受け、自助グループで自らお金を稼ぎながら、熱心に夜間勉強に励んでいる女性の強い精神や多才な能力を認める尊敬の声が地域で広がっています。

女性たちが自ら学び貧困から抜けだしていくための取り組みは、地域に少しずつ根付き始めています。このプロジェクトを安定して継続させていくために、今年も皆様のあたたかいご協力をお願いいたします。

